



もてなしの心で チーバくん マスコット を制作

10月に開催される千葉国体と千葉大会の選手関係者への参加記念品として、制作をすすめていた「フェルト人形のチーバくん」が完成しました。チーバくん人形は、パッチワークキルト指導員・講師として活躍する佐藤陽子さん(南横川)の全面的な協力のもと、町シルバー人材センターや中央公民館パッチワーク同好会、中部コミュニティセンターパッチワーク同好会、めん工房、弥機野パッチワーク同好会も加わり、660個を完成。7月7日に、ゆめ半

国体開催に向けて町内清掃

ゆめ半島は国体の少年女子バレーボール競技開催に向け、開催100日前イベントとして6月26日に町内3箇所、清掃活動を展開しました。全国から集う国体の選手や役員などの来町者をきれいな町で迎え入れようと、競技会場となる大網白里アリーナの周辺や宿泊会場の周辺などを総勢254人で清掃。参加者



歩道の除草作業をする参加者

羽ばたけ交流のつばさ

町国際交流協会留学生交流パーティー

城西国際大学で学ぶ留学生を元気づけようと、6月27日に町国際交流協会が交流パーティーを開きました。この催しには、大連外国語学院からの留学生郭錫或さんをはじめ、本町周辺に在住の21人の留学生が参加。町国際交流協会会員とともに、文化や習慣、日中相互の印象など



挨拶をする王芳さんと留学生、協会役員



手作りのチーバくん人形660個を手渡す佐藤陽子さん(右)

自然にふれあい楽しむ ふれあいさわやか運動を実施



海岸美化作業や地引き網を通して地域の交流を深め、子ども会活動や地域福祉活動を推進しようと白里中央海水浴場で7月4日、町子ども会育成連絡協議会と町社会福祉協議会白里支部によるふれあいさわやか運動が行われました。会場には、親子連れなど320人が参集。海水浴場内のごみを丁寧に拾い集め、共に

町体育指導委員が 普通救命講習を受講

いざというときに落ち着いて的確に人命救助ができるよう、7月3日に普通救命講習が大網白里アリーナで行われ、地域の住民にスポーツに関する指導や助言を行っている町体育指導委員など19人が参加しました。講師に南消防署の救急救命士を招き、町女性消防団員の協力のもと、AED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生法を学習。参加者各々が、救命処置の技術に磨きをかけ



女性消防団員に心肺蘇生法を学ぶ体育指導委員

訓練成果を発揮し健闘 第32回山武消防ポンプ操法大会

山武郡市6市町の消防団が、消防ポンプ操法の技術を競う「山武消防ポンプ操法大会」が6月27日、山武市の県立蓮沼海浜公園駐車場で開催されました。本町を代表して、小型ポンプ操法の部に出場した第3分団第2班は、日ごろの訓練成果を発揮し、努力賞と健闘賞をいただきました。【本町出場班】 ※敬称略 ○第3分団第2班 指揮者 村田公央 1番員 内山文伸 2番員 佐藤淳司(個人賞) 3番員 小倉貴浩(個人賞) 補助員 大塚孔久



第3分団第2班の演技

町民と生きる建設業 町建設業協会による海岸清掃

大規模な地震や風水害等の災害応急対策など、地域貢献を重んじる町建設業協会が6月25日、海水浴場開設直前の白里海岸で清掃活動を行いました。この時期、協会の恒例となっている海岸清掃には19社、約100人が参加。海岸のごみ拾いのほか、日ごろ使い慣れた重機や道具で、アンダーパスに溜まった砂の撤去や付近の水路清掃、町道の草刈りなどに汗を流しました。堀内町長はこの地域貢献に、「財産である白里海岸を清掃いただき、ありがたい。今後、地域との共存のために地

汗を流しました。また、自然の大切さとかかわり合い、協力することの楽しさを学んでもらおうと地引き網やカブトムシ争奪ジャンケン大会も実施。お父さんと参加した正田光之介くんは、「地引き網もしたし、ジャンケンに勝ってカブトムシももらえて楽しかった。家に帰ったらカブトムシを虫かごに入れて育てるの」と話してくれました。



加藤綾華さん(右)と鈴木穂香さん(左)

要である。地元の人たちと手を携え、取り組んでいきたい」と語っていました。

ごみ袋を手に海岸を清掃する町建設業協会のメンバー

コスモス通信

町長杯ゲートボール大会の結果 第11回町長杯ゲートボール大会が6月17日に町ゲートボール場で行われ、町内7チームが優勝目指して競い合いました。大会結果は次のとおり。 優勝 勝ヤギノ 準優勝 大網クラブ 第3位 本宿クラブ 第14回千葉県スポーツ少年団バドミントン交流大会本町選手の結果 ※敬称略 女子中学生の部(ダブルス) 優勝 鈴木穂香・加藤綾華組